

# 學界彙報

## 第一 佛敎學研究室

十月二十五日、午後六時半、第十五教室に於て  
第一、第二合同にて開く、

一、傳敎大師の願文に就て 稻葉圓成教授

一、梵本無量壽經に第十八願

有無の問題 泉 芳璟教授

兩講師を始め、赤沼教授、上杉教授、西本書  
監、宮城氏等、並に學生の會するもの四十名、  
熱心なる聽講なりき、會後、眞宗學專攻の學生  
と眞宗學教授との融和問題、並に指導方法に就  
き協議する所あり、種々研究上に於て學生の便  
宜が與へらるゝこと、ならん。

來春二月初旬、山口教授は佛蘭西、並に獨逸  
に留學することに決定し、研究室としては必要  
なる書籍を購入していただくを種々考慮中な  
り。

五月主任の更迭あり、投票の結果、第一佛敎  
學研究室は大須賀秀道教授に、第二佛敎學研究  
室は泉芳璟教授に依囑され、佛敎學研究室助手  
として藤井周慶氏を副手として日暮京雄任命せ  
られたり。(日暮)

## 第三研究室報告

大正十五年六月三日、史文會例會、於第六教室

講演「遼陽喇嘛碑文の解説」鴛 淵 教授

會後新生入生歡迎を兼ねて茶話會を開く。來  
會者教授學生多數にて頗る盛會なりき。

大正十五年六月廿一日、史文會例會、於第六教  
室。

講演「Das Aesthetische und das Schöne」

伊 勢 教授

大正十五年九月廿七日午後四時、於會議室

橋川教授渡支送別會

講演「佐渡紀行」 橋川 教授

大正十五年十一月廿四日、史文會例會、於第十  
八教室。

講演「支那紀行談」 橋川 教授

尙當日は同敎授の將來品を會議室に展觀して一般の參考に資し、講演には幻燈を使用し、聽衆頗る多數にて盛會なりき。會後同敎授歡迎會を開く。

尙大正十五年一月堂谷助手上京辭任の爲六月一日迄助手欠負のまゝなりしも、大正十五年六月一日、石崎達二、稻葉秀賢助手として就任、同時に新しく浦川敎授を研究室主任として迎ふ。以上。(稻葉)

第四(哲學)研究室

九月以後の學會の講師、題目左の如し。

瀧含雄氏「米國の宗敎々育に於ける自由主義的見地に就いて」。(九月廿日午後七時より)

鈴木貞太郎氏「禁欲主義に就いて」(十月廿一日午後七時より)

十一月廿一日(日曜日)午後一時より本學講堂に於て第一回公開講演會を開く、哲學科關係敎授全出席、聽衆堂に充ち、盛會なりき。講師、

演題左の如し。

鈴木弘氏「認識に於ける有と事と理と」

五月主任の更迭あり、投票の結果鈴木貞太郎敎授に依囑されたり。六月助手として牧野體山武生讓任命せらる。

六月以向研究室は圖書の整理に忙殺されて居る。先に木場、鈴木、瀧諸敎授の歸朝に際し、多大の圖書が本研究室に搬入された。遠からず歸朝せらるゝ安富敎授の許へも書籍購入の爲め已に送金あつた由である。雜誌も本年度より十數部を増し、夫々研究に遺憾なきを期して居る。かくて本研究室も敎職員の努力により歩一步完成へと新興の意氣を示して居る。(武生)